

コロナ禍を乗り越え 新たな杜の都へ —“The Greenest City” SENDAI 始動

—令和3年度施政方針から



仙台市長
郡 和子

昨年の年初より、世界は新型コロナウイルス感染症と闘ってきました。コロナ禍を乗り越え、安心して暮らせる日常を一刻も早く取り戻すために、感染症拡大防止策や医療提供体制の確保、ストレスへの心のケアなどの手立てを躊躇なく実施するとともに、ワクチン接種に全力で取り組んでいきます。そして、地域経済の中核を担う地元企業の方々が、市民生活の安定、さらにはまちの活力創出の要です。事業継続の支援など、地域経済の回復に向けた施策に加え、消費者ニーズの変化に応じたビジネスモデルの創出や戦略的な観光振興を進めます。

一方で、震災から10年が経過する中、市役所本庁舎の建て替えや、都心まちづくりの核となる定禅寺通の活性化など、本市の未来を形作るプロジェクトがスタートします。コロナ禍への対応に注力する中でも、未来への投資を行い、本市の持続的な活力を創出し、東北全体の発展につなげていきます。

令和3年度から始動する新たな基本計画の理念は「挑戦を続ける、新たな杜の都へ—The Greenest City, SENDAI」です。社会情勢や価値観の変容に対応し、変革とチャレンジを続けながら、人との絆や先人が築き上げてきた杜の都の風土を未来へ引き継ぎ、世界からも選ばれる希望あるまちへの挑戦を始めます。

社会変化を力に変えるまちづくり

行政手続きのデジタル化に向けて、キャッシュレス決済の導入などを図るとともに、証明書等の交付手続きを窓口に行かずスマートフォンなどで申請できるようにする実証実験に取り組みます。また、国家戦略特区や企業等との連携窓口であるクロス・センダイ・ラボなどにより、民間の創意工夫を活かしたまちづくりを進めます。

地域経済の再生と活性化に向け、中小企業への資金繰り支援や商店街の売り上げ向上などの域内経済循環につながる事業を展開するとともに、業態転換やICT技術の活用等により新規プロジェクトにチャレンジする事業者への支援等を行います。非正規雇用で働く就



学生の地元定着促進のため、市内の対象企業に就職した学生に対し、奨学金の返還を3年間支援しています(写真は対象企業の合同就職面接会)

職水河期世代を対象とした地元企業とのマッチングイベントの開催や、コロナ禍に対応した採用・就職活動の支援継続など、地元定着に向けた取り組みを進めます。

観光分野については、コロナ禍を踏まえた観光データの収集・分析を戦略的なプロモーションにつなげるデジタルマーケティング等により、社会情勢を見極めながら交流人口の回復に取り組みます。

人のつながりが育む豊かな地域づくり

1人1台の端末を活用した学習モデルを実践するGIGAスクール推進校の設置など、ICTを最大限に活かした学びの環境づくりに取り組みるとともに、きめ細かな指導が行き届くよう、35人以下学級を小学校3年生に拡充します。また、不登校対策として、在籍する学級に入りくさを感じている生徒の居場所となる「ステーション」の設置校拡充などを行います。



市ではこれまで、35人以下学級を小学校1・2年生と中学校1～3年生で実施しています

いじめの防止に向けては、いじめ対応の中心となる児童支援教諭の配置校を114校に拡充するなど、支援体制を充実させます。

コロナ禍でも安心して子どもを産み育てることができるよう、オンラインを活用した相談体制を整備するほか、不妊症・不育症に悩む方々への支援拡充や、保育施設の一時預かり等における多胎児の保護者の負担軽減を図ります。要保護児童など支援ニーズの高い子どもには、訪問による見守り強化を図るなど、家庭の状況に応じたアウトリーチ支援に取り組みます。地域づくりのパートナーであるさまざまな活動主体と手を携え、課題の発掘・分析から協働事業の実施に至るまでの支援を包括的に行う「地域づくりパートナープロジェクト」を展開します。

市民の移動手段の確保に向け、地域交通の運行支援対象地区を広げるとともに、地域で安心して生活できるよう、高齢者への生活支援・介護予防サービス提供体制の整備などを行います。

杜の都の可能性を広げるまちづくり

青葉山地区では、市街地および本丸跡から見た歴史的眺望「政宗ビュー」の実現に向け、自然と調和した城郭らしい景観づくりを進めるとともに、大手門復元に向けた基礎調査を開始します。青葉山公園追廻地区等をメイン会場として令和5年度に開催予定の全国都市緑化フェアに向けては、青葉山公園の(仮称)公園センターや中央広場等の整備を本格化させます。

都心再構築においては、民間開発や企業立地を一層促進させるとともに、定禅寺通の活性化に向け、「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」の策定や、大規模な社会実験の実施などに取り組みます。また、楽都・仙台の拠点としての音楽ホールについては、社会経済情勢などを見極めながら検討を進めます。東北全域の起業家を対象とした集中支援プログラムや、産学官金が一体となって多彩な起業家を育む環境づくりに取り組みます。温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、温室効果ガス削減アクションプログラムを通じた事業者の脱炭素化に取り組むとともに、快適でエネルギー性能の高い住宅



青葉山公園(仮称)公園センターの完成イメージ。杜の都・仙台の歴史や文化を発信し、多くの人の憩いの場となる施設を目指します

震災から10年となる今も心身に不安を抱える方々のため、引き続き心の復興などに取り組みます。また、震災の経験と教訓を継承するため、さまざまな機会を通じた発信を続けるとともに、中心部震災メモリアル拠点の整備に向けた検討を進めます。感染症の拡大を含むさまざまな危機事案への対応力を強化し、安全安心に暮らせる防災環境都市・仙台を築いていきます。

◆ 令和3年度は、基本計画をはじめとしてさまざまな個別計画が初年度を迎え、新しい仙台のまちづくりがスタートします。幅広い世代や立場の方々のこのまちへの想いを受け止め、ともに描いた未来を実現するため、市民の皆さまと新たな杜の都に向けた第一歩を踏み出していきます。